

一つテンヤロッドの進化形 紅牙テンヤゲームMX

●前作を大幅にリニューアルして新登場した「紅牙テンヤゲームMX」は、一気に12アイテムものラインナップとなった。穂先部にはAGS、エアスラッシュシートで軽量化、X-45とV-ジョイントでブレを抑え、安心のヤリトリを可能にしている。アイテムを大別すると、スピニングモデル9種、ベイトモデル(表内下段B表示の3種)、これに加え、穂先のタイプをメガトップ、メタルトップ(表内MT)、チューブラトップと分けている。主な特長は以下のとおり。

●メガトップ=M-240、MH-240、MH-255、M H-230 B

●軽量、高強度カーボンのソリッド穂先。軽快な操作性に加え、スローテーパーに仕上げた食い込みのよさと目感度をアップ。遊動テンヤとの相性も高めている。

●メタルトップ=H-235 MT、MH-235 MT、H 230 MTB

●超弾性子タン合金穂先。メタルならではの高感度を、さらに先調子設計とすることでさらなる感度と操作性をアップ。

●チューブラトップ=H-235、HH/M-225、H/M=225、XH-230、H-230 B

●軽量チューブラ穂先を採用。圧倒的な操作性とレスポンスの速さを追求。重めのオモリ、多段シャクリに最適な調子と感度のよさも実現。

アイテム	全長(m)	継数(本)	仕舞(cm)	自重(g)	先径/元径(mm)	テンヤ負荷(号)	カーボン有率(%)	メーカー希望本体価格(円)
M-240・R	2.4	2	124	98	0.8/11.1	1.5~12	96	34,800
MH-240・R	2.4	2	124	101	0.9/11.1	2~15	96	35,800
MH-255・R	2.55	2	132	110	0.9/11.1	2~15	91	37,400
H-235・R	2.35	2	122	108	1.2/11.1	3~20	96	37,000
H-235MT・R	2.35	2	122	116	0.6/11.1	2~20	95	38,800
MH-235MT・R	2.35	2	122	110	0.6/10.8	1.5~15	91	37,400
H/M-225・R	2.25	2	未定	未定	未定	3~20	未定	35,500
H/MH-225・R	2.25	2	117	95	1.3/10.4	3~20	95	36,500
XH-230・R	2.3	2	120	110	1.4/11.1	4~30	94	37,400
MH-230B・R	2.3	2	120	108	0.9/10.8	2~15	95	35,800
H-230B・R	2.3	2	120	108	1.2/10.8	3~20	95	37,000
H-230MTB・R	2.3	2	120	112	0.6/10.8	2~20	95	37,400



▲ベイトモデルに採用のエアセンサーシート



▲スピニングモデルにはエアスラッシュシート



▲当日持参した竿の一部



「外房大原や九十九里飯岡など、軽いテンヤでリフト&フォールを繰り返す場合はメガトップです。スローテーパーな穂先は荷重変化に敏感なので、遊動テンヤにもマッチしています。晴山さんには感度抜群のメタルトップで、ゲストを含めたアタリを多く取ることを優先してもらいました」

1枚目は福田さん。フォール時の小さ

一つテンヤに最適リール NEW LUVIAS

●汎用スピニングリール、LUVIAS もリニューアル。新たに軽量、耐久性に勝るZ A I O N製モノコックボディを始め、ATD、マグシールド、タフデジギアなども搭載。LT2000~LT4000番まで全13アイテム。その中で一つテンヤに最適なアイテムはLT 2500/同XHの2機種で、メーカー希望本体価格は 38,900円



ニュースタイル遊動テンヤ 紅牙遊動テンヤSS ラトルダンス

●今や全国的に主流になっている遊動テンヤ。「ラトルダンス」はアピール力の高さ、バレにくさ、キャスト性能など遊動テンヤの特性を生かしつつ、音でのアピールをプラスした新感覚の遊動テンヤ。5、6、8、10、12、15号、カラーは4色、メーカー希望本体価格560~690円



「ラトルダンス」はアピール力の高さ、バレにくさ、キャスト性能など遊動テンヤの特性を生かしつつ、音でのアピールをプラスした新感覚の遊動テンヤ。5、6、8、10、12、15号、カラーは4色、メーカー希望本体価格560~690円

「それぞれが数枚のマダイを手にした11時半に沖揚がり。もつと色いろなタイプの竿を使ったかったようで、2人は再挑戦を約束して船を下りた。」



福田豊起、晴山由梨 進化したテンヤロッドでマダイ釣り THE FRONT OF OFF SHORE FISHING vol.53

★当日は1キロ級までだったが、数釣りは楽しめた

●遊動テンヤを使い、小さなフォールのアタリを取れるのも柔軟なメガトップならではの

マダイ最前線

at 外房大原港出船

●数あるマダイ釣法の中で、一つテンヤは比較的歴史が新しい釣りだけにタックルや仕掛けに進化の余地が残されている。そんな中、ダイワから発売された「紅牙テンヤゲームMX」は最新機能を搭載、あらゆるファンのニーズに応える最先端専用竿といえる。



★晴山さんはメタルトップ穂先を使用、感度のよさを実感

当初は千葉〜茨城県エリアの「当地釣法」ともいえた一つテンヤだが、今や全国にファンを持つメジャーな釣りになった。それとともに、タックルに求められる性能や調子もより細分化している。今回、福田豊起さんが晴山由梨さんを伴って釣行したのは外房大原港、乗船したのは富士丸だ。二エロッドを携え、あえて一つテンヤの発祥地におもむいたのは理由がある。

「ひとくちに一つテンヤと言っても、エリア、水深や潮の流れ、マダイを含めたエサ取りの活性、釣り方などにより、それぞれの状況に合った竿の特性や調子が必要なんです」

そう言いながら福田さんが持参したのはダイワの新製品「紅牙テンヤゲームMX」。スピニングモデル9種、ベイトモデル3種で、なんと合計12アイテムもあるぞうだ。

豊富なアイテムにも驚くが、最大の特長はメタルトップ、メガトップ、チューブラトップと3タイプの穂先があり、それぞれの特性に合わせた調子設定となっていることだ。

5時に出船となり、太東沖の30メートルタチで釣り開始となる。潮の流れが緩いこともあり、福田さんは6号テンヤ、選んだ竿は紅牙テンヤゲームMXのM

「アタリをこらえ、すかさずハリ掛かりさせた。時折はひたひたくるようなイナダのアタリに驚かされるが、遊ばせることなく海面に浮かせるのはバットパワーのなせる技。」

冬とはいえ大原沖はまだ中小型の数釣りパターン、いわゆる秋タイの様相で、釣れるのは0.5~1キロ級が中心。アタリも活発で、2人は釣る手を休めない。

最後に福田さんが手に取ったのはチューブラトップのH-235。「キャストや多段シャクリなど、アクティブな釣り向きです。タイラバやジグなどハイブリッドでも楽しめますよ」

それぞれが数枚のマダイを手にした11時半に沖揚がり。もつと色いろなタイプの竿を使ったかったようで、2人は再挑戦を約束して船を下りた。